資料番号：EEBZ10001-11545-ZZ-EE

2009 年 07 月 22 日
株式会社明電舎
（改訂 B）

技術資料

ＭＣ１４４Ａ・ＭＣ１４４Ａ／ＤとＭＣ１４４Ｂ・ＭＣ１４４Ｂ／Ｄの機能的相違点について

＜概要＞

ＭＣ１４４Ａ，ＭＣ１４４Ａ／Ｄとその後継機であるＭＣ１４４Ｂ，ＭＣ１４４Ｂ／Ｄは、機能的に上位互換ですが、一部の機能に違いがあります。

機能的相違点をご理解の上、正しくご使用下さい。

機能の詳細については、取扱説明書をご覧下さい。

＜機能的相違点＞

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">項目</td><td colspan="6">相違点</td><td rowspan="2">備考</td></tr>
<tr><td colspan="3">ＭＣ１４４Ａ，
ＭＣ１４４Ａ／Ｄ</td><td colspan="3">ＭＣ１４４Ｂ，
ＭＣ１４４Ｂ／Ｄ</td></tr>
<tr><td colspan="2">製造工程</td><td colspan="3">鉛はんだ</td><td colspan="3">鉛フリー</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">電源電圧</td><td>ＡＣタイプ</td><td colspan="3">８５～１３２Ｖ</td><td colspan="3">８５～１３２Ｖ</td><td rowspan="2">ＡＣ：同一
ＤＣ：上位互換</td></tr>
<tr><td>ＤＣタイプ</td><td colspan="3">９～１６Ｖ</td><td colspan="3">９～３０Ｖ</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用温度範囲</td><td colspan="3">０～５０℃</td><td colspan="3">－１０～５０℃</td><td>上位互換</td></tr>
<tr><td colspan="2">EIA/TIA ｲﾝﾀﾌｪｰｽ入力電圧</td><td colspan="3">±２０Ｖ</td><td colspan="3">±２５Ｖ</td><td>上位互換</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">受信レベル</td><td colspan="3" rowspan="2">－１０～－４０ｄＢｍ</td><td colspan="3">－１０～－４０ｄＢｍ</td><td rowspan="2">ディップスイッチ設定（ＤＳＷ１－９）を変更</td></tr>
<tr><td colspan="3">－４～－３４ｄＢｍ</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">ディップスイッチ設定（ＤＳＷ１）</td><td>ビット</td><td colspan="2">機能</td><td>ビット</td><td colspan="2">機能</td><td rowspan="4">ＤＳＷ１－９ビットの設定を変更</td></tr>
<tr><td>８</td><td colspan="2">ｺﾏﾝﾄﾞﾚｽﾓｰﾄﾞ／AT ｺﾏﾝﾄﾞ</td><td>８</td><td colspan="2">ｺﾏﾝﾄﾞﾚｽﾓｰﾄﾞ／AT ｺﾏﾝﾄﾞ</td></tr>
<tr><td>９</td><td colspan="2">専用線／公衆回線</td><td>９</td><td colspan="2">受信レベル設定</td></tr>
<tr><td>１０</td><td colspan="2">４線式／２線式</td><td>１０</td><td colspan="2">４線式／２線式</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">モジュラージャック接続端子（ＬＩＮＥ）</td><td colspan="2">機能</td><td>使用ピン</td><td colspan="2">機能</td><td>使用ピン</td><td rowspan="5">ＭＣ１４４ＡまたはＭＣ１４４Ａ／Ｄへ接続していたモジュラージャックは、そのままＭＣ１４４ＢまたはＭＣ１４４Ｂ／Ｄに接続可能（＊１）</td></tr>
<tr><td colspan="2">公衆回線</td><td>３－４</td><td colspan="2">公衆回線</td><td>３－４ および
２－５（＊１）</td></tr>
<tr><td colspan="2">専用線２Ｗ</td><td>２－５</td><td colspan="2">専用線２Ｗ</td><td>３－４ および
２－５（＊１）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専用線
４Ｗ</td><td>送信</td><td>２－５</td><td rowspan="2">専用線
４Ｗ</td><td>送信</td><td>３－４ および
２－５（＊１）</td></tr>
<tr><td>受信</td><td>１－６</td><td>受信</td><td>１－６</td></tr>
<tr><td colspan="2">端末機器認証番号</td><td colspan="3">ＡＤ００－０１５６ＪＰ</td><td colspan="3">ＡＤ０７－０１１９００４</td><td></td></tr>
</table>

＊１：ＭＣ１４４Ａでは未使用端子は短絡しても問題ありませんでしたが、ＭＣ１４４Ｂでは２番と３番、４番と５番の信号はそれぞれモデム内部で接続されていますので、未使用端子同士が短絡しないようにする必要があります。６Ｐのモジュラケーブルを使う時は、特に未使用端子の処理に注意が必要です。
例えばＭＣ１４４Ｂの専用回線接続で２番と５番を使用する時は、未使用の３番と４番を短絡したり他の信号に接続したりすると、正常に通信できなくなりますので、ご注意下さい。

上記以外の通信機能、電気的仕様に差異はありません。
また、ＭＣ１４４Ａ・ＭＣ１４４Ａ／ＤとＭＣ１４４Ｂ・ＭＣ１４４Ｂ／Ｄの相互接続性能に問題はありません。

以上.